



Homepage <https://www.yk-bunka.com> E-Mail [ykbunnka@gmail.com](mailto:ykbunnka@gmail.com)

2019年3月号  
No.47  
(春秋発行)



金沢区制70周年記念参加事業

## カリスマ4講師による連続歴史講座 開催

当協会では、金沢区の「区制70周年記念事業」の一環として「連続歴史講座」を企画し、平成30年11月から平成31年2月にかけて月1回計4回の講座を開催した。その結果、各回ともに多数の方々の参加を得て好評裡に終了した。

講座内容は「現代から中世まで、時間を遡る形で、金沢区にまつわる話をカリスマ4講師にお願いする」というユニークな構想で、当協会としてはかつてない規模のものであった。

チラシ作成・配布のほか地域紙掲載など広報にも力を入れた結果、定員超過も出る応募人気で、嬉しい悲鳴を上げることとなった。もちろん、講座内容も人気をはるかに凌駕する素晴らしいものであった。(平山 次清)



巨大パネル展示



金沢地区センターでの講座



新金沢公会堂での講座



### 第1回 金沢の海辺の変貌と

#### 金沢地先埋立

平成30年11月25日(日)金沢公会堂多目的室

講師は田中常義氏。現在、NPO法人野口英世よこはま顕彰会の理事長で、登録有形文化財となった長浜検疫所内に現存する野口英世ゆかりの「一号停留所」の保存活動をされている。金沢海岸の埋め立てに直接関わられた元横浜市港湾部長だけに、写真・図も多用され、普段聞くことができない話など大変興味深いものであった。また講演に合わせて開催された巨大パネル展も大きな関心を引いた。



### 第2回 幕末・明治の金沢

平成30年12月16日(日)金沢地区センター大会議室

講師は西川武臣氏。横浜開港資料館館長で「浦賀奉行」や「ペリー来航」などの著書もあるお馴染みの方。配布資料に基づき丁寧にわかりやすく説明された。

内容もユニークで、配布資料の明治初期の地元民の日記を追う形で、日記の筆者が当時、金沢から横浜までどのように移動したか、どのような体験をしたかなどが、目に浮かぶが如くに語られ、参加者の興味を大いに喚起した。



### 第3回 金沢八景の成立と展開

平成31年1月12日(土)金沢地区センター大会議室

講師は上智大学文学部の特任教授である西岡芳文氏。前職は神奈川県立金沢文庫学芸課長。展覧会図録なども多数出版され、横浜市文化財保護審議会委員も務めておられ、区民にはお馴染みである。講演では、写真や配布資料も参照し、「金沢八景」の成立過程・背景について、中国の瀟湘八景や漢詩なども紹介されながら、お話しをいただいた。金沢八景の奥の深さを改めて痛感させられた内容であった。



### 第4回 金沢八景の歴史とその魅力

平成31年2月16日(土)金沢公会堂講堂

講師は五味文彦氏。東京大学および放送大学の名誉教授、現在横浜市ふるさと歴史財団理事長で、多数の著書のほか横浜文化賞も受賞されている。2015年にも旧金沢公会堂で講演をされ人気を博された。今回も中世の歌・詩・絵画に現れる金沢八景周辺の状況がどうであったかということから始まり、近世に至るまでの金沢八景の歴史・魅力について、資料を参照しつつ、満員に近い受講者に興味深い話を語っていただいた。熱心にメモを取る方も多かったことも印象的であった。



# 第1回「かねさわ杯 区民かるた大会」開催

吉杯をなめた人も、勝利を得た人も、来年のご健闘を!

静寂の中、読みが始まる。『ちはやふる・・・』サッと伸びる手・手。熱い戦いが始まった。昨年「新春かるた大会」として試行。今年は金沢区制70周年を記念に「かねさわ杯(文化協会賞)」を設け、第1回「かねさわ杯 区民かるた大会」を平成31年3月16日(土)に当協会主催で開催。昨年と同様に横浜市立金沢中学校の協力を得て、会場は同校の格技場。企画や当日の読み手・審判で宮田直幸8段をはじめ横浜集会の方々の協力を得た。

参加は区内在住、在学、在勤の小学生以上の3人で編成したチーム。小学生の仲良し・両親と子・姉妹同志などの15チームが参集。競技はチーム対抗勝ち抜き戦。接戦に次ぐ接戦で、札1枚差で勝利して歓喜したチーム、1枚差で涙を流したチームと悲喜こもごもであったが、真剣な競技姿に感動を覚えた。区民の間で「かるた」がますます盛んになることを願い、当協会はこの大会をこれから毎年開催する予定である。(森上 久夫)



試合が始まると床のかるたに鋭い視線!



会場に現れた参加者の顔には強い闘志!



優勝した長澤チームの3人



かるたの取り合いに火花が!



優勝	長澤汐里(16)	早川結惟(14)	長澤 楓(10)
準優勝	大堀晴香(11)	松谷朝珠(11)	森下 怜(12)
第3位	手塚 優(11)	牧園杏奈(11)	御手洗実和(11)



## 海苔づくり教室

「海苔づくり教室」が、平成31年2月17日(日)に、野島青少年研修センターとセンター前の公園スペースで実施された。この事業は金沢区の青少年育成事業として本協会会員を中心に結成されている「海苔づくり実行委員会」が委託を受け、毎年この時期に実施している。今回は区内の小学生37名ならびに保護者等32名が参加した。

当日は晴れ時々曇りで、微風、気温も10度を超えるという絶好のコンディションの中、実行委員会スタッフ26名の指導の下、参加者は3つのグループに分かれ、①海苔切り、②海苔つけ、③海苔干しという乾し海苔づくりのそれぞれの工程を体験した。参加した子供のほとんどが、初めての経験であった。

海苔が乾燥するまでの時間、「海苔の生態」「海苔づくりの歴史」についてビデオなどで学習を行った。また、昼食時には「生海苔入りの味噌汁」を味わった。午後は「横浜金沢シティガイド協会」メンバーの案内で野島公園内の史跡の見学などを織り交ぜて展望台まで散策。戻ってから海苔の乾く音や香りを体験し、収穫。

スタッフの用意した七輪で焼いた焼き海苔を食べ、今回も満足な表情で帰宅した。

(深津 米男)



## 金沢三曲会の出前教室

平成8年より、区内の小中学校に和楽器を持参し、体験してもらっている。今年度は小学校12、中学校1、合計13校に出前。小学校は5、6年生、中学校は1年生が対象でした。

「春の海」の模範演奏、楽器の説明、そしてさあ体験。

- ・尺 八→先生はあんなにすらすら吹いていたのに。音が鳴らない!
- ・おこと→きれいな音を出すのが難しい。でもメロディーが弾けて楽しい。
- ・お三味線→右手にバチ、左手は音程を作る。両方は大変!

子どもたちは和楽器に夢中、あっという間に授業は終了した。(佐野 史瑞子)



平成30年度後期・第20回  
俳句・短歌ポスト表彰

当協会の横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会  
が主催する第20回表彰式が平成30年10月29日  
(月)、金沢区民センターの会議室で行なわれた。  
対象作品は平成30年3月1日から平成30年8月  
31日の間に区内の地区センターや神社仏閣など、  
11か所に設置されたポストに投函、または俳句大  
会、短歌大会等で投稿された、俳句131句、短歌  
16首でした。

その中から、金沢区の花鳥風月を見事に詠みあ  
げた俳句10句、短歌5首が表彰された。

表彰された俳句、短歌は横浜金沢文化協会のホ  
ームページに掲載されています。(野中 建吾)

<p>横浜市金沢区長賞 夕風やエンジン唸る柴漁港 金沢区釜利谷南 柴崎 幸治 菜の花の野原広がる金沢区 金沢区釜利谷西 横山 乃咲 十一歳</p>	<p>称名寺 ぐるりと巡ぐる森の奥 奥津城在ます 金沢区西条 内藤 和子</p>
---	--

金沢区民短歌大会(後期)

金沢区民歌人会では当協会との共催で、毎年2  
回(前期・後期)、「金沢区民短歌大会」を開催し  
ています。今回は、平成30年11月25日(日)八  
景コミュニティハウスで、13人の短歌愛好者が参  
加して開催されました。和気藹々の雰囲気の中  
で、真面目に、お互いの作品を忌憚なく、推敲・添  
削し合い、互選により上位6首を決定しました。上  
位作品6首は、横浜金沢文化協会のホームページ  
を参照してください。(野中 建吾)

金沢区民俳句大会

金沢俳句会では当協会との共催で平成30年10  
月28日(日)、「金沢区民俳句大会」を開催しま  
した。午前は金沢自然公園(含・金沢動物園)内を吟  
行し、午後は「ののほな館」で句会を行いました。

幸いにも晴天に恵まれ、28人の俳句愛好者が参  
加しました。句会では和気藹々と自作の俳句を披  
露し合い、互選の結果、上位10句が選出され、表  
彰されました。

句会に引き継いで、金沢俳句会の北野一清会長  
による「俳句の世界 その24」と題する俳話を拝  
聴しました。上位作品10句は、横浜金沢文化協会  
のホームページを参照してください。(野中 建吾)

体験講座「吟詠を楽しむ」

10月8日(月)、当協会の団体会員である金沢区吟  
剣詩舞道連盟(以下、連盟と略)の協力のもと、金  
沢地区センター大会議室において詩吟体験講座「吟  
詠を楽しむ」を開催した。

まず、連盟の横浜吟友会に所属する当協会理事の大  
川岳要講師の指導で、発声の基本から始まり、楽譜  
の読み方を教えて頂いた。

初心者が多少慣れたところで連盟の横浜岳風会に  
所属する当協会会員の遠藤勝美講師の素読のお手本を  
聞いた後、教材をもとに川中島、富士山、小林一茶  
の有名な俳句などの素読を受講生全員で体験した。

また、合間に連盟の阪柳岳朋会長の朗々たる吟詠  
にも浸った。

講座の最後には初心者も詩吟の会友の中に仲間入  
りして堂々と詠じることができ、詩吟の世界を満喫  
した90分であった。(坂下 文子)



大川岳要講師

金沢民謡協会  
第5回おさらい会

晴天に恵まれた2月18日(月)、金沢民謡協会  
の第5回「おさらい会」が新金沢公会堂で開催さ  
れた。金沢八景が描かれたどん帳があがり、オー  
プニングの花笠音頭を出演者全員で合唱。最新の  
音響設備と照明を使用し、約100曲を発表。会員  
も来場者も大満足の1日となった。(阿部 きみえ)





## 第30回金沢区民文化祭

平成30年10月7日～12月8日にわたって第30回金沢区民文化祭が開催されました。当協会会員から多くの参加がありました。その活動を開催日時に沿って紹介いたします。

### 日本舞踊公演 金沢区日本舞踊連盟

平成30年10月7日(日)、磯子区民文化センター・杉田劇場にて今回で23回目となる公演を迎える事が出来ました。大道具、松竹衣装、かつら等で華やかな舞台を構成し、出演者一同で心を込めて本格的な日本舞踊の舞台を務め、大変好評のうちに終了することが出来ました。伝統文化の



継承と技芸の向上を図り、日本舞踊を地元の皆様にしみ楽しんで頂ける事を励みに精進して参ります。

(花柳 徳蓮)

### 民謡のつどい 金沢民謡協会

平成30年10月8日(月)、第4回「民謡のつどい」を、横須賀芸術劇場ベイサイド・ポケットで開催しました。1年前から会場予約をしたり、チラシ配布を充実させたり、「はまかぜ新聞」に記事を掲載して頂いた事もあって、300人以上の来場者を迎える事ができ、とても充実したつどいとなりました。舞台では80曲余りを披露。金沢区



民はじめ横須賀市民の皆様方から温かい拍手手を頂戴しました。

(阿部 きみえ)

### 吟と舞の祭典 金沢区吟剣詩舞道連盟

平成30年10月27日(土)、金沢産業振興センターで開催。本年度で20回を重ねますが、平年同様のプログラムでの祭典としました。今回は傘下各流派会の9歳から90歳までの会員・200人が、金沢八景詩吟詠・青少年吟詠・歌謡吟詠競吟・剣舞・詩舞と賑やかな雰囲気の中で閉会まで頑張りました。



なお記念大会は、31年春に完成した新金沢公会堂にて、開催いたします。

(大川 岳要)

### 金沢三曲演奏会 金沢三曲会

平成30年10月28日(日)、横浜市磯子公会堂で開催。駐車場が使えず、また当日は横浜マラソンのための交通規制もあり、車での移動は苦労しました。出演者は、平成の現代曲からそれぞれの流派の曲、江戸時代の古曲とバラエティに富んだ曲目を演奏しました。次回からは金沢公会堂での演奏ができるため、今回で最後となる会場で心をこめて演奏。



盛会のうちに終了しました。

(佐野 史瑞子)

### 迎え花と茶道具展 金沢華道会・金沢茶道会

平成30年11月6日(火)～10日(土)の5日間、金沢区庁舎1階エレベーターホール前の展示スペースに金沢区民文化祭参加行事として「迎え花」と「茶道具」を展示しました。中央のオープンスペースには「迎え花」。フォックスフェイス、アンスリュウム、アレカヤシなどのモダンな花材でダイナミックに活けました。両側のガラスケースには「茶道具」。左側に月点前茶箱、右側に玉露用盆点前煎茶道具を並べ、背面には厳かな書を配置しました。花と茶道具の組合せはとても好評でした。



茶箱(月点前)

迎え花

煎茶道具(盆点前)

(堀 蕙柯、門間 宗映)

## 金沢区音楽のつどい

### 金沢区音楽のつどい運営委員会

練習拠点を金沢区に置いて活動している音楽団体が、音楽文化の向上とお互いの親睦を図ることを目的として、平成30年10月21日(日)に日頃の練習成果を発表。磯子公会堂での開催は今年で3回目となりました。進行もスムーズとなり、フィナーレの「かなざわの四季」では、ホール全体に歌声が響き渡り、合唱の醍醐味を肌で感じる事が出来ました。(宮崎 裕子)



## 華道展 金沢華道会

平成30年11月10日(土)~11日(日)、金沢地区センターにおいて華道展を開催。日本の伝統文化である「生け花」。華道会の各流派の先生と、その門下が日頃の成果を披露し、花を愛する多数の区民が会場に足を運んでくれました。毎年、華道会会場で催される「無料生け花体験コーナー」も大好評で、近年では男性や親子連れも多くなりました。先着30名の整理券はお昼前後でなくなりました。華道の発展に寄与する事も願って居ります。



(堀 蕙柯)

## 金沢区小・中学校音楽祭

### 金沢区小・中学校音楽祭実行委員会

平成30年12月2日(日)、横浜市立大学シーガルホールにて出演者スタッフ含み入場者600名で開催されました。今年で18回目。日頃練習してきた琴、合唱、弦楽などの演奏を披露し、音楽のすばらしさや楽しさ、沢山の感動を与えてくれました。公会堂建て替えに伴い一時は音楽祭を終了、休会という話も出ましたが無事バトンを繋ぐことが出来て嬉しい限りです。



(佐久間 理恵)

## 茶会 金沢茶道会

平成30年11月10日(土)金沢地区センター2階で、区民文化祭茶会を催した。第1席田宮席(和室)では南宗寺硯應老師筆「徳不孤」のお軸、織部焼に白いボケ。大四方棚に紅葉絵水指。真形霰釜から湯気がたつ落ち着いた茶室でした。第2席藤崎席(ロビーの立礼席)では、愛新覚羅方覚筆「鶴亀」。御園棚に車軸釜、陳金梅造の青花斗彩四君子文の水指。鵬雲斎宗匠箱熨斗囊。お菓子は白鷺宝。お客様は全部で166名余がご来場下さった。

体験コーナーは東福僧堂の更幽軒筆「閑座聴松風」の色紙、照り葉と白玉椿を生けたしつらえとした。お菓子は亥の子餅で、とても美味しかったと好評でした。来場頂いた62名の方々に楽しんで頂けたと思います。



(田宮 宗初)

## 区民の作品展

平成30年11月6日(火)~10日(土)、区民などからの公募作品160点の展示会が、金沢公会堂多目的室(絵画、書道、手工芸)と区民ギャラリー(写真、俳句、短歌)で開催された。会場では、一般区民の作品に交じって当文化協会の絵画、書道、写真、文芸部門の会員の作品も展示され、ひとときわ輝きを放っていた。また、展示会場の公会堂多目的室の入口には、当協会会員の金沢華道会による迎え花が活けられ展示に華を添えていた。なお、この展示会に先立って、各分野から計7作品を選んで先行展示が区役所1階の展示スペースで行われた。ここにも当協会会員の絵画、俳句、短歌が1点ずつ展示された。(野中 建吾)



区民ギャラリーでの展示

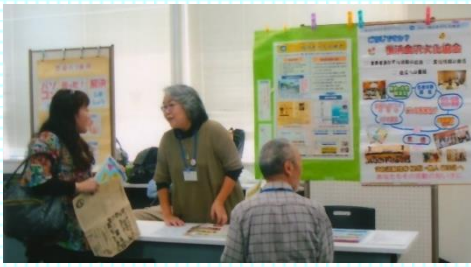


展示スペースでの先行展示



フォーラムKANAZAWA2018

11月17日(土)、区役所庁舎で開催された「金沢区生涯学習交流会フォーラム KANAZAWA 2018」に参加した。当協会の参加は昨年度に続き2度目で、今回は当協会の事業を2枚のパネルに表現した。来訪者には会報『しおさい』や会員募集チラシを配布し、認知度アップと会員獲得を図った。



当文化協会の団体会員である「金沢三曲会」「金沢民謡協会」「琴アンサンブル金沢桐韻会」「南国忌の会」「金沢区の文学と歴史愛好会」「横濱金澤シティガイド協会」「金沢華道会」「野口英世よこはま顕彰会」もパネルで日頃の活動をPRした。

金沢公会堂多目的室では、「琴アンサンブル金沢桐韻会」「金沢民謡協会」「金沢三曲会」の演奏が行われ、来場者に具体的な活動内容を披露した。(森上 久夫)

「活動紹介パネル展」に参加

平成30年度の区民活動センター主催「活動紹介パネル展」が10月1日(月)~27日(土)を4期に分けて区民ギャラリーで開催。当協会は、第3期の10月14日(日)~20日(土)間、協会の活動一覧、会員の特典と役割などを盛り込んだパネルを他の参加者とともに展示。

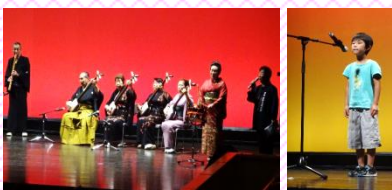
当協会の7団体会員(「金沢三曲会」「琴アンサンブル金沢桐韻会」「金沢吹奏楽団」「南国忌の会」「金沢区の文学と歴史愛好会」「横濱金澤シティガイド協会」「野口英世よこはま顕彰会」と1個人会員(「荘シルビアさん(フラワーアレンジメント)」)の展示もあった。(金間 誠一)



金沢文化芸術祭

平成30年10月13日(土)、磯子区民文化センター・杉田劇場で9回目の金沢文化芸術祭を開催することが出来ました。

六浦小中学生による詩吟、小中学生・大人による和太鼓演奏、民謡、舞踊、カラオケ、平均60才~80才による男声合唱団、大道芸人によるパントマイムなどを17団体が披露し、他に地域の人達も多く参加され、好評を得ました。(中塚 康雄)



金沢ふれあい文化祭

平成30年10月21日(日)、金沢産業振興センターホールで「金沢ふれあい文化祭」が開催されました。金沢区を中心に活躍する民謡、舞踊、カラオケ、太鼓、フラダンスなどの先生と生徒さんが日頃の練習成果を発表する場で、今回は春秋通算で52回目の大会でした。

オープニングは毎度おなじみの花笠音頭を会場全員で歌い、にぎやかにスタート。第1部では22組が発表。第2部は式典。第3部は勇壮な太鼓でスタートし、16組が発表。第4部は会主の出演で、9人の先生方が発表。会場からはひときわ大きな拍手が送られました。(阿部 きみえ)



金沢三曲会研究会

平成31年2月10日(日)、金沢公会堂多目的室で金沢三曲会の第80回研究会が開催された。和気あいあいと、でも少し緊張しながら、箏、三絃、尺八との合奏を勉強し、お客様に聴いていただき、出演者がお互いに聴きあい、研鑽を積んでいる。年2回2月と6月の研究会が、金沢三曲会のレベルアップにつながっている。(佐野 史瑞子)



旧伊藤博文金沢別邸茶会 金沢茶道会

旧伊藤博文金沢別邸で平成30年10月14日(日)、金沢茶道会の茶会を催した。伊藤博文公ご夫妻の写真にお茶とお菓子をお供えしてから、お客様に席に入っていただき、お点前を始めた。江戸千家流のお点前は大変喜ばれた。(田宮 宗初)



**長浜検疫所一号停留所の  
文化財登録記念講演会・パネル展**

平成30年12月12日(水)、NPO法人野口英世よこはま顕彰会では金沢公会堂に75名の受講者を集めて講演会を開催した。第1部では横浜検疫所参与(前所長)の木村博承氏が「野口英世が活躍した当時の国内外の感染症状況と長浜検疫所の役割」、第2部では野口英世研究家の中村澄夫氏が「若き日の野口英世～東京時代・長浜検疫所時代を中心に～」と題した講演を行った。また、12月9日(日)～15日(土)の間、金沢区民ギャラリーでパネル展を開催した。講演を補完するとともに、顕彰会の20年の活動を振り返る内容で、連日多くの見学者が来場した。(木下 文雄)



**金沢区美術展**

金沢区美術協会では、「見る人と描く人の思いを寄せて集う金沢区民の美術展」をキャッチフレーズに、区民公募の「金沢区美術展」を能見台地区センター体育室で実施しました。会期中の平成30年11月22日～27日の6日間には、延べ1400人超の区民や近隣の磯子区・横須賀市等から、大勢の方が来場され、連日盛況の中で終えることができました。(山口 武夫)



**かなすいチャリティーほっと！コンサート**

平成31年2月17日(日)金沢公会堂に満員のお客様を迎え開催、万雷の拍手をいただきました。ご来場の皆様及びご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。特別ゲスト vl.: Bohemianist MasahiRo p.f.: 斎藤真理恵 指揮: 安田遼太 演奏: 金沢吹奏楽団 司会: 遠藤弘子 【曲目】 祝典行進曲、組曲「イーストコーストの風景」、ラブソディー・イン・ブルー、ジャパニーズ・グラフィティ8、川の流れるように、ボレロ・イン・ポップス (寺田 早苗)



**朗読「たちばな」発表会&義太夫**

平成30年10月14日横浜市大のホールで第7回目の発表会を開催。前半は与謝野晶子の短歌、菊池寛「父帰る」、民話等全9作品を朗読。後半は太夫4人が「野崎村」を、ラストは義太夫発祥の徳島出身の竹本朝輝師匠が「寺子屋」の一部を語り、会場は感動の渦でした。(橘 有美)



**琴アンサンブル金沢桐韻会の箏演奏会**

平成30年12月8日(土)金沢産業振興センターホールで開催された箏演奏会は「春の海」で幕を開け、特別出演の横浜市立六浦小学校琴クラブの9名の児童が、「わらべ唄メドレー」を熱演。最後は20名の合奏「夢紡ぎ歌」で幕を閉じた。(佐野 史瑞子)



**囲碁大会(秋季) 金沢区囲碁連盟**

小雨の降る中10月14日に金沢区囲碁大会が開催され約60名の方々にご参加頂きました。各段・級毎に上位の6名が金沢区を代表して11月3日に開催された横浜市囲碁連盟対抗戦に参戦し、3位という好成績を収めました。(高橋 徳美)



**川浪舎人色鉛筆植物画と金沢華道会生け花展**

平成30年9月18日～9月23日の6日間、金沢区制70周年に因んで金沢華道会と2年前から綿密な打ち合わせをし、植物画・華道合同の展示会を開催しました。



秋の七草を描いた作品に対して植物を生けるといいうように植物画の前にその花を配置するようにしました。過去にない新しい展示方法として共感を得られた展示会で、期間中600名を超える方々が鑑賞され、感動を与える事が出来ました。

(川浪 舎人)

**第37回南国忌 南国忌の会**

直木賞に名を残す直木三十五の命日である2月24日(日)、東富岡の長昌寺で「第37回南国忌」が開催された。今回の記念講演は直木三十五の実弟植村清二氏の長男植村鞆音(ともね)氏(エッセイスト)が、「伯父・直木三十五のこと」の演題で、肉親ならではのエピソードを交えた興味深いお話をされた。植村氏はテレビ東京の役員として「開運!なんでも鑑定団」「出沒!アド街ック天国」などを立ち上げた功労者でもある。(窪田 修)



## 文化協会行事予定(平成31年4月~9月 日程順)

多くの行事は開催日が近づくと文化協会のホームページに詳細案内が掲載されます。また、前回の様子などもあります。

行事名	実施日	実施場所	問合せ先電話番号
金沢煎茶道会 三溪園慈善茶会	4月14日	三溪園鶴翔閣	045-774-7077
俳句短歌ポスト表彰式	4月24日	金沢区民活動センター	045-781-5044
らしく並木 埋立前の横浜金沢海岸巨大写真展と講演	4月20日~27日 (講演は27日)	金沢スポーツセンター	045-785-3000
色鉛筆植物画展	4月28日~5月6日	大船フラワーセンター	090-5435-7300
金沢区民短歌大会	5月	八景コミハ	045-781-5044
金沢茶道会 緑の大茶会	5月12日	三溪園鶴翔閣	045-782-8079
瀬戸神社居合道奉納演武会	5月18日	瀬戸神社	045-783-2298
金沢区囲碁大会	5月20日	金沢地区センター	045-780-3199
金沢区美術協会 会員展 生涯現役かなざわ会 講演会	5月21日~27日	かなっくホールギャラリー	045-773-5299
「身の周りの生活と化学」 元徳島大学副学長 和田 眞	5月25日	能見台地区センター	045-773-6074
金沢区書道協会 会員展	5月30日~6月3日	磯子区民文化センター	045-831-9715
金沢茶道会 あじさい祭茶会	6月	八景島客船ターミナル	045-782-8079
金沢区民俳句大会	6月2日	金沢地区センター	045-781-5044
横浜金沢写真連盟・観光協会 合同公募展	6月4日~10日	横浜市民ギャラリー	045-784-1741
金沢三曲会研究会	6月8日	金沢公会堂	045-781-1483
金沢区朗読公演会	6月19日	金沢公会堂	045-785-4757
島山六朗重保公顕彰法要	6月22日	島山重保公廟所	045-782-2858
金沢吹奏楽団 定期演奏会	6月30日	金沢公会堂	090-7189-5298 (17時以降)
野口英世よこはま顕彰会 野口英世展 生涯現役かなざわ会 講演会	7月8日~13日	金沢区民ギャラリー	045-786-4618
「大雨・台風・気象のあれこれ」 気象予報士 和田 光明	7月27日	能見台地区センター	045-773-6074
塩づくり教室 塩田での塩づくり	7月27日	海の公園	045-788-7804
野口英世よこはま顕彰会 夏休み子ども体験教室	8月3日	長浜ホール	045-786-4618
塩づくり教室 塩の道を歩く	8月3日	金沢公会堂多目的室、 朝夷奈切通し	045-788-7804

## 個人会員紹介

## 柴沼万寿美



主人の転勤に伴い、東京から各地に移り住みましたが、金沢区並木に落ち着き

36年になります。その間、大好きだった

小学校教師に復職することができ、子ども達と楽しい時間を持つことができました。

授業を通して、泥亀新田の歴史や

金沢地区の埋立について興味を持ちました。

退職後は、コーラスその他の活動の楽しさを味わっています。

文化協会のお手伝いをする中で、さらにいろいろなことに触れる機会を楽しみにしています。

## 団体会員紹介

## 「かなざわクラシック・ミュージズの森」

金沢区にゆかりある演奏者とその仲間

たちを集め、身近なクラシックを目指し、

多数の音楽会を開催しています。金沢区

の法人等とも協力し、若手のみならず全

ての演奏家の演奏や広告の支援を積極的

に行うと共に、その国際性とクオリティ

の維持にも努めています。

代表 しもぎ響子



## 顧問一覧

小幡正雄、片岡順一、木村久義、国吉一夫、黒川澄夫、黒川勝、佐野和史、篠原豪、鈴木節夫、高井祿郎、高橋徳美、竹野内猛、松崎淳、松本純、谷田部孝一

## 賛助会員一覧

一般社団法人金沢区三師会、御菓子司 横浜紅谷、医療法人社団 景翠会 金沢病院グループ、竹嵩山禅林寺、医療法人社団 湘南太陽会 鳥居泌尿器科・内科、植周造園株式会社、白山東光禅寺、金沢白百合幼稚園、赤ひげ小川笙船法要会、株式会社はまかせ新聞社、三本コーヒーショップ金沢文庫店 芦部久美子、レインボートラベル株式会社 桑原龍治、有限会社オッターブルー、有限会社清水薬局、川田俊博

## 会報編集委員

編集長 阿部孝三

副編集長 内園一廣

編集委員 阿部きみえ、金間誠一、川浪舎人、佐野史瑞子、鈴木達洋、塚本眞砂子、宮崎裕子

## 編集後記

文化協会主催の連続歴史講座、毎回盛況で、第4回は新金沢公会堂でと、一大イベントとなりました。講座や掲載の各記事は執筆者の情熱あふれるもので大幅な文字数カットを余儀なくされました。ぜひ行事に参加いただき、その熱気を体感してみてください。(鈴木 達洋)

## 新会員一覧

(個人) 太田照雄、大竹千子、山尾正起

(団体) かなざわクラシック・ミュージズの森、

NPO法人らしく並木

(賛助) 株式会社はまかせ新聞社